

「ふるさと倉岳学講座」

棚底城跡の天草の中世における存在意義

“天草戦国ミュージアム”来秋開業！

**参加無料
申込不要**

**と き:令和7年7月27日(日)13:30～15:30
ところ:棚底地区コミュニティセンター集会室**

中世天草の歴史を物語る貴重な城郭として、平成21年7月に国史跡に指定された棚底城跡。その魅力を紹介する施設として「天草戦国ミュージアム」が令和8年11月(予定)に開業します。

今回の講座では、施設の建設を契機としてまちづくりの機運を盛り上げていくため、改めて棚底城跡の存在意義を学ぶとともに、見て、感じて、楽しみながら歴史を感じる交流拠点施設としての、「天草戦国ミュージアム」の機能を紹介します。

お誘い合わせの上、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

●第1部:史跡整備とガイダンス施設の意義について
13:35～天草市観光文化部 文化課 宮崎俊輔 氏

●第2部:棚底城と戦国茶の湯の文化
13:55～天草市倉岳支所まちづくり推進課 中山圭 氏
—————(休憩・抹茶びき体験 15分)—————

●第3部:棚底城跡の天草の中世における存在意義
14:30～天草の自然と歴史を語る会 歳川喜三生 氏

ジオラマの展示や体験コーナーもあります！

戦国時代の棚底城では、武士が茶の湯を楽しんでいたことが、出土品から明らかになっています。

当時の豊かな生活文化に触れられる、石臼を使った抹茶びき体験もあります！



【講座案内】

令和7年度倉岳地区公民館の第2回全体講座「ふるさと倉岳学講座」をご案内します。今回の講座は3部構成です。

まず第1部では、天草市観光文化部文化課の宮崎俊輔氏から、「史跡整備とガイダンス施設の意義について」と題して、令和8年11月に供用開始予定の「天草戦国ミュージアム」の機能についてお話があります。棚底城跡は、平成21（2009）年7月23日に国指定の史跡に指定され、本年度で指定16年目を迎える倉岳の宝の一つです。

第2部では、倉岳支所まちづくり推進課の中山圭氏から、「棚底城と戦国茶の湯の文化」についてお話があります。往時は武士のたしなみとして茶の湯が生活に浸透しており、棚底城跡から出土した「陶磁器」や「茶の湯道具」が使われておりました。併せて休憩時間を利用して抹茶びき体験があります。

第3部では、天草の自然と歴史を語る会の歳川喜三生氏から、「棚底城跡の天草の中世における存在意義」と題してお話いただきます。棚底城跡は、天草を代表する中世の山城として、14世紀から16世紀の天草の政治・軍事の変遷を物語る貴重な城跡です。

また、この講座は、「棚底案内人の会」の指定研修にさせていただいております。多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

令和7年7月1日

倉岳地区公民館長 木村 臣進